

地域みんなで取り組む 住みよい農村づくり

農地・水・環境保全向上対策について

集落における高齢化や混住化により、農地や農業用水路、農道などの資源を適切に保全することが困難になってきています。このような状況の中、将来にわたってこれらの資源や農村環境を守るためには農業者だけでなく地域ぐるみでの取り組みが必要となってきます。

この対策は、地域ぐるみで農地や農業用水路、農道などの資源や農村環境を守る共同活動組織を構築するために支援をするものです。

平成19年度 資源保全隊の後期活動内容

▼秋の植栽活動



多くの行政区で、町道脇の花壇やプランター等にパンジーや葉牡丹を地域住民で植栽を行い地域の環境保全を向上させました。



▼グランドカバープランツへの取り組み

逢隈南部地区資源保全隊(下郡区)



下郡地区逢隈駅前 町道法面への カバープランツ

町道法面(700㎡)へ防草シートを張り付け、シバザクラ(2,800株)の植栽を行いました。

吉田西部地区資源保全隊(北長瀬区) 巨理地区資源保全隊(南町南区)



白鳥が飛来する境堤ため池 堤塘へのカバープランツ

堤塘の東側法面(650㎡)と西側法面(670㎡)に防草シートを張り、東側法面にはシバザクラ(2,740株)・西側法面にはヒメイワダレ草(1,340株)の植栽を行いました。

逢隈南部地区資源保全隊(上郡区)



上郡地区天王ため池 堤塘への カバープランツ

堤塘(250㎡)へ防草シートを張り付け、ヒメイワダレ草(500株)の植栽を行いました。



シバザクラ植栽より3年後のイメージ写真



ヒメイワダレ草植栽より1年後のイメージ写真

今、荒廃農地の 適正な管理が 求められています!

近年、農業従事者の減少や高齢化により荒廃農地の増加傾向が見受けられます。これら荒廃農地は病虫害の温床となり、近隣の農作物へ被害を及ぼすだけでなく、その他地域全体の活力の低下にもつながります。

適正な管理により、かけがえのない農地を守る活動が必要です。

▼地域内に点在する荒廃農地



荒廃農地は病虫害等の発生原因や、火災、ゴミの不法投棄等の環境への悪影響が心配されます。



▼荒廃農地適正管理のための活動



消防団協力による火入れ作業

本対策では荒廃農地の適正な管理を目的とし、その啓発及び管理作業に対する支援を行っています。



地域住民による草刈り作業

※巨理町は、町全域でこの対策に取り組んでいます。そのため、町全域の農地や農業用水路、農道などの資源やそれらを取り巻く生活環境を**共同活動**または**個々の活動**によって**良好に保つ**ことが必要です。地域ぐるみで話し合いを行いながら、より良い農村環境の保全活動に努めましょう。

※平成19年度本対策予算にて、草刈作業の労力軽減と作業効率向上を目的とし、歩行型草刈機（モア）を6保全隊共同で1台購入いたしました。共同で実施する草刈作業に無償で貸し出しを行います。借用は、各行政区の本対策代表者を通して巨理土地改良区まで申し込みを行って下さい。

発行

・逢隈北部地区資源保全隊 ・逢隈南部地区資源保全隊 ・巨理地区資源保全隊
・荒浜地区資源保全隊 ・吉田東部地区資源保全隊 ・吉田西部地区資源保全隊

※活動の相談窓口は巨理町産業観光課 (TEL.34-0503)
または巨理土地改良区 (TEL.34-1319) で受けております。